

ゼミナール a・ゼミナール I の履修者のみなさんへ —第 15 回目の授業の実施方法について—

すでにご存じのように、授業開始が 4 月 20 日(月)の科目であっても、前期の授業の終了日である 7 月 31 日(金)までの学期中には、大学における授業回数を 14 回分しか確保できません(※このゼミの開始は 5 月 8 日(金)です)。そこで、第 15 回目の授業をどう行うかを、各科目で決めることとなっています。第 15 回目の授業の実施方法としては、補講を行う方法のほかに、家庭で学習を行い、その成果をレポートで出すなどの方法が考えられます。ゼミナール a・ゼミナール I では、次のような形で第 15 回目の授業を実施します。

①6 月くらいまでに、自宅または大学図書館などで LGBT に関連する下記の映画のいずれか 1 本を見て下さい(インターネットなどで映画の紹介を見て、興味を持ったもので構いません。もちろん興味があれば、いくつ見ても構いません)。

- 『ミルク』 ガス・ヴァン・サント監督(2008 年、アメリカ)
- 『チョコレートドーナツ』トラヴィス・ファイン監督(2012 年、アメリカ)
- 『パレードへようこそ』マシュー・ウォーチャス監督(2014 年、イギリス)

※3 番目のものは大学図書館に収蔵されていません。希望者には貸出します。

これらの映画は論文や本で紹介されている映画なので選定しました。

②後日、映画の内容について話し合いができるように(内容と自分がどう考えたかを思い出せるように)、A4・1 枚程度(800~1200 字程度)の紙に内容や感想、疑問を持った点、調べてみたい点をまとめておいて下さい。

(③可能ならば、6 月以降に授業として映画についてオンライン上(Google Classroom)でゼミ生同士で話す時間を作ります。)

→③として話し合いの時間を設けられた場合、その話し合いの結果もふまえて、A4・1 枚以内で自らの考えを書いた小レポートを提出して下さい(ワープロソフトを使って下さい)。もし授業内で話し合いの時間が取れなかった場合、②のメモをワープロソフトを使って清書して提出して下さい。

※オンラインでゼミ生同士が話す時間を設けられるかどうかは、みなさんの IT 機器・インターネットの利用可能状況などによるので、このような形にしています。

※映画とは別の課題を希望する人は個別に連絡して下さい。

以上